

11 玉縄地域 地域別方針

目標における網掛け部分  と具体的な取り組みにおける太字部分は平成16年度に追加・修正した部分です。
また★印は重点的に取り組む内容です。



まちづくりの基本的考え方

- 身近な緑に囲まれ、郷土の歴史や文教施設との調和が取れた学び・暮らしやすいまちづくり。
- 玉縄ならではの田園を活かした環境共生型のまちづくり。

目標

目標① 住みやすく地域を活性化 する施設整備

①地域資源を活用した施設整備などによるまちの活性化を図る

- フラワーセンターや大船観音、玉縄城址などの地域観光資源のネットワーク化
- 公共施設等の開放・緑化

②公共施設を整備する

- スポーツ施設の建設

③地域への配慮と高齢者・障害者も安心して生活できるまちづくりを進める

- 学校・公園・農地などの防災拠点化
- 地域コミュニティの拠点づくり
- 柏尾川などの河川改修や急傾斜地の崩壊防止工事の実施
- 交通弱者に配慮した道づくり

④資源（不要品など）のリサイクルシステムを確立する

- 地域リサイクル活動のための公共公益施設の開放

目標② 良好なまちづくりの 推進と緑の保全・創出

★
①関谷の農地を活かしたまちづくりを進める

- 市街化調整区域の農地の保全
- 生産緑地地区の保全

②文教的住宅地という特徴を活かしたまちづくりを行う

- 文教施設と調和した住環境整備
- ★ 法による緑の保全
- 身近な緑の保全・創出
- 公園・広場の緑の保全・創出
- 柏尾川沿いの住宅地における良好な住環境の育成
- 丘陵の低層住宅地の住環境の保全
- 中層住宅地の住環境の保全
- 文教的住宅地に配慮した横浜藤沢線周辺環境の整備

③良好な河川環境の創出を図る

- 河川の自然回復と環境保全・親水化
- 谷戸池など、親しみやすい池の周辺整備

④大規模土地利用転換における整備の誘導

- ★ 事前調整を強化したルールづくりの検討

目標③ 交通環境の充実と 駅前の魅力づくり

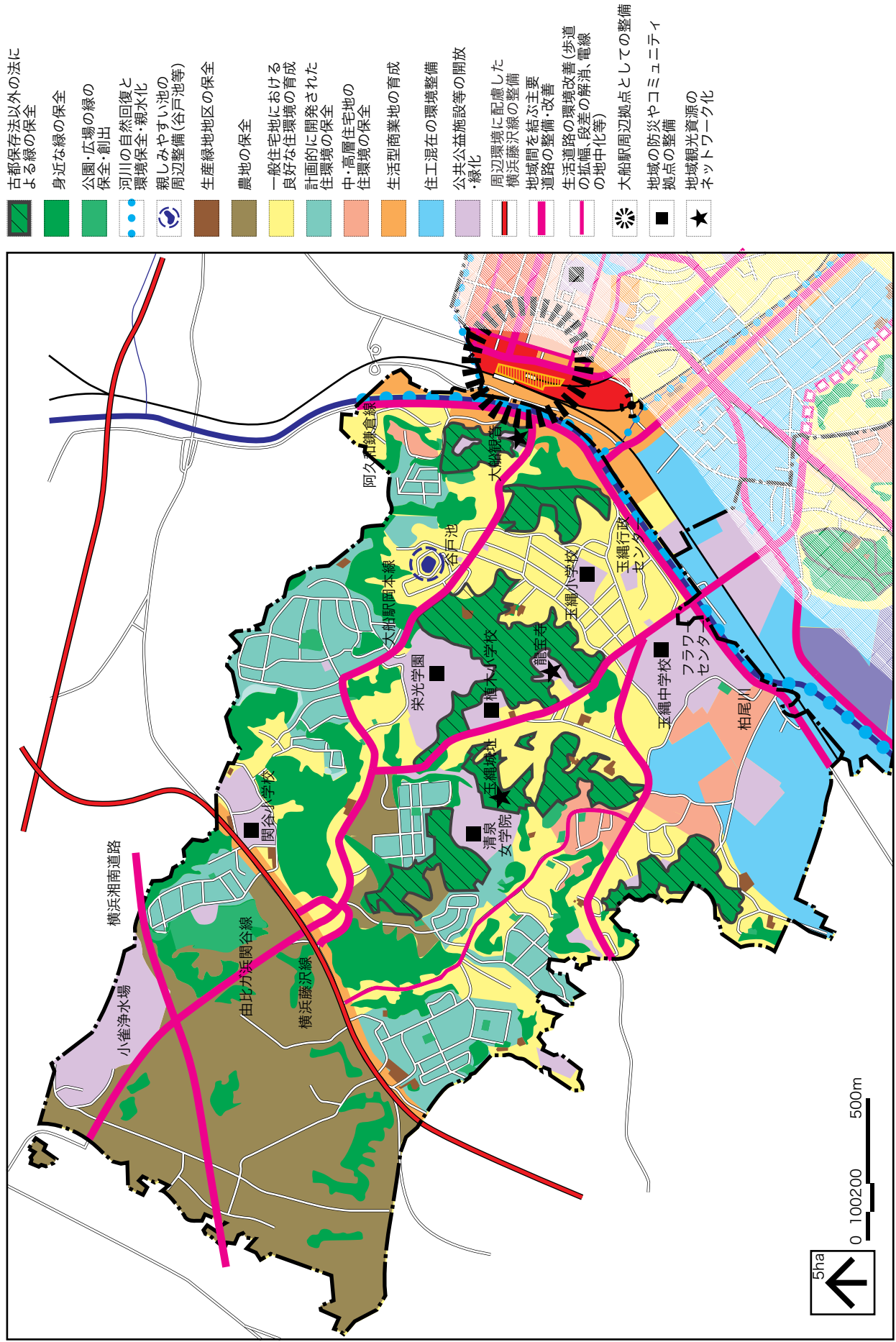
①交通環境を向上させる施設の整備と公共交通の充実を図る

- 大船地域と結ぶ新規の道路を横浜市と連携しながら検討
- 横浜市と結ぶ阿久和鎌倉線の整備・改善
- 歩道の拡幅、段差の解消、電線の地中化など生活道路の環境改善
- 巡回型のミニバスなど、バスの利便性の向上
- 自転車利用環境の整備
- 広域的な道路である横浜藤沢線の整備

②駅前の魅力づくりを行う

- 生活型商業地の形成
- デッキなどによる歩車道分離と歩行者のための回遊空間の確保
- 駅周辺における公的施設の導入を視野に入れた、複合開発の誘導
- ★ 駅西口及び駅前の整備
(大船駅のバスターミナル、エスカレーター等の整備)

図 地域別方針……玉縄地域



1. 地域の特性

- 昭和 40 年代以降の比較的新しい住宅地が点在し、丘陵地の自然と調和した居住環境が形成されていますが、市街化区域内に残された緑地も多く、その一部については保全のための担保措置が取られています。
- 南部の植木・岡本地区にある工業地域では、工場の撤退が相次ぎ、その跡地に高層共同住宅、戸建て住宅、大規模商業施設が建設され、土地利用の転換による、大船駅西口周辺の交通渋滞が懸念されます。
- 北西部には、市街化調整区域の農地が広がっており、鎌倉市内でも全く様相の異なった田園地帯となっています。
- この地域の外周道路網は比較的整備されており、藤沢、横浜、県央などの周辺都市とのアクセスも良く、また今後もさらに道路網の整備が進むことが予定されています。

2. 主な動向と取り組み

地域別の方針（本編 170 ページ）に掲げる 3 つの目標についての主な動向と取り組みは次のとおりです。

目標 1

住みやすく地域を活性化する施設整備

- たまなわ地域交流センターを開設しました (H10.5)。

目標 2

良好な住環境の整備と緑の保全・創出

- 早雲台住宅地で住民協定が締結されました (H13.3)。
- 岡本特別緑地保全地区（約 3.2ha、H14.4）、城廻特別緑地保全地区（約 3.7ha、H14.4）、玉縄城址特別緑地保全地区（約 2.4ha、H15.6）の指定を行いました。

目標 3

交通環境の充実と駅前の魅力づくり

- 神奈川中央交通によるバス路線（大船駅西口～城廻循環線）が整備 (H15) されました。
- 交通バリアフリー法に基づく移動円滑化基本構想を策定しました (H15.10)。また大船駅西口にエスカレーターが設置されました。
- モノレール大船・ドリームランド線の運行再開については、既に関係事業者が断念しています (H14.8)。
- 大船駅西口では、利便性の向上と混雑解消を図るため、新乗降口を整備 (H11.2) し、エスカレーター 1 基 (H12.9) を整備しました。

3. 重点的に取り組む内容

丘陵地の自然と調和した住宅地、南部の工業地域や北西部の市街化調整区域の農地といった様々な地域の特性を活かすため、緑地の保全、工業の維持や農業の育成が重要です。

重点

1) 緑地の保全

- 近隣市との交通の利便性が高い地域であることから、残された緑地における開発が進められることが予測されます。このため、緑の基本計画に基づく施策方針に従い、緑地の保全を推進していきます。

重点

2) 大規模土地利用転換における秩序ある整備の誘導

- 植木、岡本地区での大幅な土地利用転換により、大船駅西口周辺の交通混雑の悪化が懸念されます。また、工場の撤退による市内の工業の衰退も好ましい状況ではありません。
- このため産業の振興を図るとともに、一定規模以上の土地の開発事業に対する事前調整の仕組みの見直しや内容の充実について検討します。特に土地利用転換や高容積率の建築計画の場合には早期の段階での調整を図り、周辺環境等にも配慮した計画となるよう誘導します。

重点

3) 大船駅西口整備の推進

- 歩行者・自動車分離による安全性と利便性の確保、駅前交通渋滞の解消などを実現するため、大船駅西口駅前整備協議会から提案された短期的方策のうち実現可能なものから取り組むとともに、大船駅西口整備の推進を図ります。
- モノレール大船・ドリームランド線廃止等の状況変化に合わせ、鎌倉・横浜両市で大船駅西口整備事業計画の見直しを行います。

重点

4) 農業の育成支援

- 関谷地区の農地は、広大で開放感のある田園地帯であり、産業面や環境面からも本市の貴重な資源となっています。このため営農者が将来にわたり安心して農業ができる環境を充実していきます。

ソフト面の取り組み

- 市民による地域資源の発掘と選定、地図づくり
- 災害時の避難、救援システムの充実
- ごみの減量、リサイクルの推進（意識の形成）
- 地域コミュニティの形成（災害時における連帯）
- 医療サービス体制の充実